

秋田県知事

佐竹 敬久 様

能代港における
洋上風力発電拠点化に関する
御礼及び要望



写真提供:秋田県建設部 能代港湾事務所

令和5年9月1日

能代港洋上風力発電拠点化期成同盟会

平素より本同盟会の活動に対しまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本同盟会では、能代港における洋上風力発電の拠点化に向けた要望活動や広報活動を展開しており、令和2年3月に能代港の港湾計画が改訂され、同年9月には能代港が港湾法に基づく基地港湾として指定されたことを受け、国による岸壁整備や地耐力強化等が進められております。また、県におかれましては、ふ頭用地の造成事業を行っていただき、今年度は用地の埋立てやソーラスフェンスの設置工事等を実施いただくなど、洋上風力発電の拠点港として着実に整備が進んでいることは、幸甚の至りであり、深く感謝申し上げます。

こうした中、令和3年12月には、再エネ海域利用法の促進区域である「能代市、三種町及び男鹿市沖」において事業者が選定されたほか、「八峰町及び能代市沖」では、今年度内の事業者選定に向けた準備が進められております。

また、国では、洋上風力発電を2050年カーボンニュートラルの実現に向けた切り札と位置付けており、今後の風力発電設備の大型化やプロジェクトの大規模化に対応する基地港湾の最適な配置、規模等に関する検討も進められているところです。

さらに、令和4年12月には、能代港港湾区域内で国内初となる本格的な洋上風力発電の商用運転が開始され、周辺では関連施設の建設や地元資本によるアクセス船（CTV）の運航、地域外からの視察者の増加等の好影響が現れており、今後、洋上風力発電による恩恵を地域が最大限享受していくためには、関連産業の集積や地元雇用の創出を図るとともに、秋田県北部地域の企業に対する洋上風力発電関連分野への参画に向けた支援が必要であると考えております。

こうした状況を勘案した上で、能代港に洋上風力発電設備建設のための港湾インフラやメンテナンス基地機能を集中的に整備することにより、国が目指す再生可能エネルギーの主力電源化に大きく貢献するとともに、日本全体の電力の安定供給及びカーボンニュートラルポートの形成による地域脱炭素社会の実現にも資するものと考えております。

つきましては、下記事項について、引き続きご指導とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

記

- (1) 能代港が洋上風力発電設備の建設及びメンテナンス拠点となるための港湾施設の早期完成
- (2) 大森地区小型船だまり移設計画の早期完了と、移転後の埋立ての着手
- (3) 中長期的な視点に立った風力発電設備の大型化・プロジェクトの大規模化を見越した港湾機能の強化
- (4) 秋田県北部地域企業の洋上風力発電関連分野への参画及び関連産業の集積に向けた支援

令和5年9月1日

能代港洋上風力発電拠点化期成同盟会

会長 能代市長 齊藤 滋 宣

能代港洋上風力発電拠点化期成同盟会 役員名簿

令和5年9月1日現在

役職	団体名称	役職	代表者	備考
会 長	能代市	市 長	齊藤 滋宣	
副会長	大館市	市 長	福原 淳嗣	
	能代商工会議所	会 頭	佐藤 肇治	
理 事	男鹿市	市 長	菅原 広二	
	鹿角市	市 長	関 厚	
	北秋田市	市 長	津谷 永光	
	三種町	町 長	田川 政幸	
	八峰町	町 長	堀内 満也	
	大館商工会議所	会 頭	佐藤 義晃	
監 事	株式会社秋田銀行	執行役員能代支店長	佐々木 久則	
	株式会社北都銀行	能代支店長	西本 一史	